

平成27年度

「親守詩」作品募集

子から親へ、感謝の気持ちを込めて「親守詩」の輪を広げよう!

「親守詩」をご存じですか? 「おやもりうた」と読みます。子守唄は“親から子へ”ですが、その逆に“子から親へ”、作文・定型詩・連歌などで感謝や親愛の気持ちを伝えるのが親守詩です。言葉による新しいコミュニケーションを通して、家族の絆、親子の絆を深めていきましょう。皆様からの心温まる作品応募をお待ちしております。



第2回 盛岡大会受賞者

テーマ 親子の絆／親への感謝

◎作品部門

- ① 作文・詩の部 (子から親へ 140字以内の作文形式)
お母さんがしゅつちょうで二日間いなかった。わたしはお母さんがしゅつぱつする時、泣いた。夜、電話するときも泣いた。お母さんに会いたくなった。二日間、弟のおべんとうを作るのに五時半に起きた。お母さんにならったあつやきたまごを作った。帰ってきたお母さんが、たまごやきを食べて泣いた。
(平成26年度・日本教育文化研究所賞 小2 鈴木彩里さんの作品)
- ② 定型詩の部 (子から親へ 5・7・5字の俳句形式)
手紙なら 毎日言える ありがとう
(平成26年度・優秀賞 小学4年生 阿部瑳音さんの作品)
- ③ 連歌の部 (子が上の句の5・7・5字、親が下の句の7・7字を作る形式)
かたたたき いたいとないてる お母さん(子)
うれし涙を 痛いとごまかす(親)
(平成26年度・親学推進協会賞 小学6年生 梶原明葵さん母子の作品)



第2回 親守詩全国大会受賞者



第2回 盛岡大会受賞者

◎表彰

各部門・募集対象ごとに優秀賞、佳作等の表彰作品を選考します。都道府県または地方大会での表彰を経て、平成28年2月21日の「第3回親守詩全国大会」において文部科学大臣賞、総務大臣賞、優秀賞等を発表・表彰します。

第3回親守詩全国大会

2016年2月21日(日) 13:00~15:00
浜離宮朝日ホール 小ホール



第1回 親守詩全国大会



第2回 親守詩全国大会

◎募集期間

平成27年4月1日~9月30日

ただし、募集期間は都道府県大会によって異なります。都道府県大会が実施されない地域は、10月1日(木)から11月15日(日)を募集期間といたします。応募に関しては、裏面の「応募用紙」に作品等の必要事項を記入し、提出してください。下記の「親守詩」応募要項ホームページからも応募できます。

◎応募・問合せ先

親守詩全国大会実行委員会 作品募集係
〒102-0082 東京都千代田区一番町4 相模屋第5ビル5階
☎03-3262-1869
「親守詩」応募要項ホームページ <http://oyamoriuta.jimdo.com>

主催：親守詩全国大会実行委員会
共催：毎日新聞社
後援(予定)：内閣府／文部科学省／総務省／観光庁／日本青年会議所 ほか
協賛：損保ジャパン日本興亜ひまわり生命／ミサワホーム／カーテンじゅうたん王国
特別協力：朝日ニュースサイト [dot.]



平成27年度 第3回親守詩全国大会 応募用紙

学校・園 電話番号 住所 氏名 ふりがな		学年		年齢	
		自宅・学校・園 (所属)		自宅・学校・園 (所属)	
作文・詩の部(子から親へ 140字以内の短文形式)		作文・詩の部 (英語表記可)			
子から親へ 五		☆上の句 (お子さんの作品) 五			
七		七			
五		☆下の句 (親御さんの作品) 七			
		七			

※この応募用紙に記入するか、A4サイズの用紙に同様の必要事項を記入して、提出してください。1部門1応募用紙でお願いいたします。
 ※応募用紙に記入いただいた個人情報につきましては、親守詩全国大会実行委員会が厳重に管理し、入賞された際の連絡にのみ利用させていただきます。記入漏れがないようお願いいたします。
 ※作品は返却できません。また、著作権は主催者に帰属します。ご了承ください。

親守詩全国大会実行委員会事務局 作品応募係
 〒102-0082 東京都千代田区一番町4 相模屋第5ビル5階